

みず・みどり みまもり はぐくむ 森がすき

み〜も通信

水と緑の森づくり情報誌



2008.3
Vol.12



「水と緑の森づくり実践表彰」
表彰団体決定!

この表彰は、平成17年度からスタートした水と緑の森づくり事業の森づくり・資源活用実践事業(県民提案型事業)を実施している団体を対象に、特にすぐれた「県民参加の森づくり」を実践している団体を知事表彰するものです。

受賞結果は次のとおりです。

最優秀賞

NPO法人もりふれ倶楽部

優秀賞

NPO法人緑と水の連絡会議

優秀賞

しまねフォレスト・ネットワーク出雲

表彰は、平成20年2月19日に知事室で行われ、溝口知事より最優秀賞を受賞されたNPO法人もりふれ倶楽部理事長 榎原道夫さん外受賞団体の代表者へ表彰状が授与されました。

なお、もりふれ倶楽部の活動の様子は最終ページに掲載しています。



知事より表彰状を授与されるもりふれ倶楽部 榎原理事長



左より溝口知事、NPO法人もりふれ倶楽部 榎原理事長、NPO法人緑と水の連絡会議 和田事務局長、しまねフォレスト・ネットワーク出雲 正木代表



平成20年度 「水と緑の森づくり税」の 使いみちをお知らせします。

目的

広く県民が享受している森林の公益的機能が失われつつある荒廃森林を再生し、水を育む緑豊かな森を次の世代に引き継ぐための取組を一層推進します。

予算

平成20年度
予算額 **3億5,636万円** (平成19年度:3億773万円)
対前年比116%

財源内訳

基金	1億1,800万円
平成20年度基金積立見込額	1億9,964万円 (税込見込額 2億1,098万円から徴収取扱費を除く)
国庫補助金	3,872万円

事業の内容

1

県民参加の森づくり・森の恵みの身近な活用

■森づくり推進事業

予算額
1,160万円
(平成19年度:1,252万円)

①森づくり情報交流

- 水と緑の森づくり会議の開催
- 水と緑の森づくり促進 PR
- 季刊誌発行
- 森林林業体験活動の推進

②森づくりサポート体制の整備

- 企業参加の森づくり制度推進 PR
- 地域の緑の少年団育成支援
- 森づくりサポートセンター PR
- 森づくりプロデューサー派遣

■森づくり・資源活用実践事業

予算額
3,000万円
(平成19年度:3,000万円)

県民の自主的な森づくり活動を推進するため、メニューに沿って県民自らが企画・立案した取り組みを支援します。採択は、県民10名からなる「水と緑の森づくり会議」の意見を聞き県が決定します。

従来の県民提案に加えて市町村提案も募集します。

市町村提案例としては、県産材（バイオマス）活用提案や、県民参加型の荒廃竹林の整備活用、未立木地、松食い虫被害地整備、里山整備などがあります。

事業区分	取組内容	対象	交付率
す森を 取組全	森づくりボランティア	緑豊かな森を再生・維持するための取組み	1/2以内
	森づくり講座	森づくりを習得する機会を創出する取組み	
森を利用する 取組	木材利用による街づくり	公共性が高く、身近なところで木材、バイオマスなどを利用する取組み	1/2以内
	木の利用講座	木材、バイオマスなどの利用方法を習得する機会を創出する取組み	
	森林・都市交流	森林都市交流により、森林にふれあう機会や森林作業体験を創出する取組み	

採択予定時期 4月、8月の2回程度

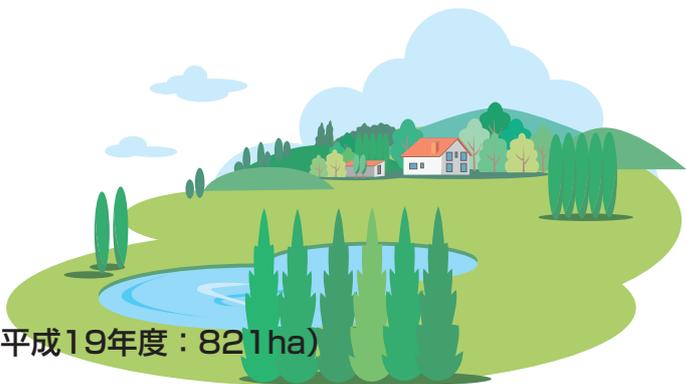
応募窓口 隠岐支庁農林局、各農林振興センター、各地域事務所



② 緑豊かな森の再生

■ 県民再生の森事業

予算額
3億1,476万円
 (国3,872万円・県2億7,604万円)
 (平成19年度:2億6,521万円)



① 県民再生の森事業 計画面積 / 1,244ha (平成19年度:821ha)

(1) 荒廃森林の水を育む緑豊かな森への再生

対象林	10年以上間伐未実施の36年生以上の人工林 36年生以上との一体的な整備を行う場合や災害等により緊急に周辺の再生が必要な場合は36年生未満の人工林も対象とする。
協定締結	森林所有者*県 委託実施の場合はこれに森林組合等(林業事業体など含む)を含めた3者協定とし森林組合等は協定期間中の見回り管理等を実施。
内容	不要木の伐採(1,188ha)、広葉樹植栽(6ha)、侵入竹林伐採(8ha)、保険(2ha)、管理道(10,000m)
交付金 (標準経費)	<ul style="list-style-type: none"> ● 不要木の伐採 <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備前成立本数 1,700本以上/haの場合 13万円/ha ・ 整備前成立本数 1,700本未満/haの場合 10万円/ha ● 伐採跡への広葉樹植栽 本数に応じて 32~133千円 ● 侵入(隣接含む)竹林の全伐整理 竹の粗密度に応じて 68~619千円/ha ● 管理道の開設 2千円/m ● 3者協定の場合は諸掛費加算 諸掛費率 30%(管理道を除く)

(2) 多様な主体による森の再生と県民参加の森づくりフィールドの確保(国の補助事業活用)

対象林	公益的機能の発揮と展示・PR効果が期待される手入れ不足の人工林
実施主体等	NPO法人等や企業、上下流の自治体等が行う森の再生や県民参加の森づくりフィールドの確保について、国の補助事業を活用
内容	不要木の伐採(56ha)、広葉樹植栽(1ha)、侵入竹林伐採(1ha)、保険(1ha)
協定締結	森林所有者*県・NPO等 しまね企業参加の森づくり協定 自治体間の新たな森林整備協定

② 県民再生の森モデル事業 計画面積 / 50ha

対象林	水源かん養機能などの確保に加えて、実感できる安全・安心な生活の確保や集落周辺の美しい景観形成等を目的に、10年以上放置された、県民の目に触れやすい道路沿い等の人工林
実施主体等	森林組合等 (森林組合等は協定期間中の管理伐採等を実施)
内容	森林組合による提案型施業(不要木の伐採、管理道開設、管理支障木整理等々)に係る初年整備経費の全額支援(上限50万円/ha)
協定締結	森林所有者*県*森林組合等による長期再生の森協定(20年)の締結

森づくり
資源活用
実践事業
取組情報
①

出雲かんべの里
里山再生の取組み
「森林整備と
東屋作りワークショップ」



出雲かんべの里では平成17年度より水と緑の森づくり税を活用し里山再生に取組んできました。

平成19年度にこれまでこの活動に参加してこられた方を中心に「かんべの森を守る会」が結成されました。

この会では11月23日に活動の拠点となる東屋作りを行い、12月1日に植樹活動を行いました。



ターザンロープも出来ました



屋根の板張りをする参加者



暗い森を明るくするため、不要木を伐採します。尾根部には松、周辺部にはクリ、ヤマザクラ、ケヤキなどを植えました。



森づくり 資源活用 実践事業 取組情報

2

間伐材を利用した プランターカバー作り

団体名 NPO法人国際交流フラワー21(しまね花の郷)

所在地 出雲市西新町2丁目2456-4

親子が一緒になって木工を行うことにより、木とふれあい、また森づくり（間伐）の大切さを知ってもらうために、県産間伐材を利用したプランターカバー作りを行いました。

製作したプランターカバーは利用者の多い県立浜山運動公園に寄贈しました。

夏休み最後の土日となる8月25～26日に教室を開催しました。

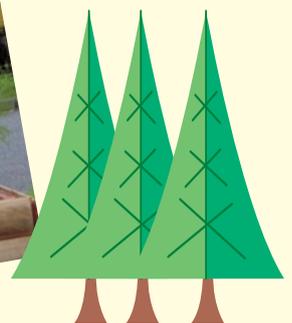
島根県森林インストラクターに講師をお願いし、森づくりの大切さや間伐材について説明を受けました。



親子で楽しみながら木工ができるよう指導員が作業工程を工夫しました。



製作した200個のプランターカバーは県立浜山運動公園に寄贈し、公園内の歩道に設置しました。



平成
19年度

県民再生の森事業実施事例



安来市伯太町●0.34ha

スギ・ヒノキ(44年生)



雲南市大東町●1.80ha

スギ(42年生)



出雲市佐田町●0.73ha

スギ(44年生)



浜田市金城町●1.87ha

スギ(45年生)



邑智郡美郷町●7.37ha

スギ(45~50年生)



鹿足郡吉賀町●2.59ha

スギ・ヒノキ(42年生)



隠岐郡隠岐の島町●1.30ha

スギ(48年生)

県民再生の森事業では、
伐採した木を森林内に
伐ったままおいています。
その木は、将来的には
朽ちて下草等の養分にな
ります。



平成
19年度

森づくり推進事業実施事例



県民アンケート実施

松江サティ／6月30日



県民アンケート実施

ジャスコ出雲店／7月14日



水と緑の森づくりPR

森の誕生日／4月29日



水と緑の森づくりPR

県民の森フェスティバル／8月11日



水と緑の森づくりPR

全国雑木林会議／10月6日・7日



水と緑の森づくりPR

間伐競技会／10月20日



森づくりプロデューサー養成研修

10月27・28日、11月24・25日



森づくりプロデューサー養成研修

10月27・28日、11月24・25日



もりふれ倶楽部の
水と緑の森づくり事業を活用した取り組み



森林ボランティアのための山仕事講座



公募による参加者に、レベルに応じて森林を手入れする技術（間伐、枝打ち、作業道づくり、用具のメンテナンス、クラフトづくりなど）を習得してもらい、森林ボランティアとして活動する人を養成するための講座を実施。



「県産材を使って、森の家をつくらう！」
県産材利用による小屋づくり実践講座
実施事業

県民の参加を呼びかけ、県産材を活用した小屋づくりのノウハウを体験的に学んでもらい、さらに小屋を拠点として、周辺ヒノキ林を対象とした森林保全活動をボランティアで実施。



里山自然塾

キノコ狩り・キノコ鑑定



里山子ども自然塾

クラフト作り



その他にも、里山自然塾や里山子ども自然塾の開催など、森づくり活動等の啓発活動にも積極的に取り組んでおられます。